



© JFA / PR



VOL.47 2023.2.28

普及コーディネーター取り組み事例紹介①

青森県

太田 哲さん

〈〈テーマ：青の煌めきあおもり国スポを目指して〉〉

【中学校年代への取り組みについて】

2022シーズンには計画されたFAトレセンを実施、U-13～16の女子選手が意欲的にプレーしてくれました。11月にはFAトレセンの成果として挑んだ「THFAセイホクカップ東北U-15女子サッカー選抜大会」で初優勝することができました。

中学校年代のゲーム環境を改善するために始まった「青森エンジェルリーグ」は、中学校年代を中心としたクラブチームが6チーム、高校4チーム（クラブ・高校とも合同含む）の計10チームが参加しリーグ戦を実施することができました。私も可能な限り会場へ出向き、選手のプレーを観て、各チームスタッフとのディスカッションをすることで、選手のサッカー環境に対する理解を深めることに努めました。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

年度計画にはなかったのですが、4種FAトレセン活動の一つとして取り組みました。県内を東西に分けての練習会「ガールズエイトin青森」を実施し、32名（6年16人、その他4、5年）でガールズゲームに臨みました。東西両チームにそれぞれ女子監督を配置し、女子ユース審判が帯同しました。ゲーム内容として、点差の離れるゲームが多く、拮抗したゲームの重要性を感じる結果となりました。今年度は移動距離の問題から、東北6県で本県のみ前泊をしました。旅費の補助があったとはいえ、選手の個人負担が大きく、今後の検討課題でした。しかし、保護者から楽しい経験をしたとの声が聞こえてきたのは良い点でした。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

3月4日には「JFA女子サッカーデー2022青森 in マエダアリーナ」が開催されます。ここでも多くの女子選手がサッカーを楽しんでくれるものと思います。

2022年の最も大きな事業として「JFA Magical Field Inspired by Disney ファミリーサッカーフェスティバル “First Touch” in 青森」を開催できました。メインコーチ6名はすべて女性指導者に担当していただきました。また高校女子選手がサポート・運営に大活躍し、来場者から高評価をいただきました。2023シーズンにもプレミアム版・スタンダード版のW開催を目指して、関係各所と調整していきます。

【今後の目標】

2023シーズンには、4種各大会や中体連の大会等に足を運び、選手や保護者とのコミュニケーションを深めることに注力していきたいと考えております。今年度は明るい話題が多くありました。関川伽音さん（八戸学院光星高校）が県内女子高校生初の2級審判に合格しました。また五戸SCが、「全日本U-15女子フットサル選手権大会」で第3位。リペロSC弘前フィオーレが1月に行われた「日本クラブユース女子サッカーチャレンジカップ（U-18）」に出場しました。さらにBon Sagesse（ボン サジェス）が、JFA 第19回全日本女子フットサル選手権大会に東北代表として出場します。

この勢いを継続し、2026年開催予定の第80回国民スポーツ大会「青の煌（きら）めきあおもり国スポ」での目標達成に向け邁進します。

普及コーディネーター取り組み事例紹介②

岩手県

【中学校年代への取り組みについて】

岩手FAでの中学校年代への取り組みは、次年度の計画段階であり、今年度についてはまだ手つかずの状況にあります。若干の中体連登録者がいるほかは、多くはクラブチームに所属してサッカーを続けている状況です。中体連登録者でサッカーができる環境と機会の整備が必要であり、3種と女子委員会と協力し合いながら、取り組みを考えています。まずは毎月、県内の3種所属中学生を集め、練習会の開催を予定しています。この活動が軌道に乗りましたら、同世代とのトレーニングマッチを行ったりと、機会の拡充を図り進めていきたいと思っています。

松本 剛史さん



【ガールズゲームへの取り組みについて】

ガールズゲームの取り組みとして、小学生女子単体のチームがなく、また四種への登録人数も少なくチームとしての活動が厳しいといった状況です。四種登録の女子選手を集めたトレーニングや大会や交流などの機会の創出が取り組むべき課題と思います。



【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

昨年度は県内のコロナ感染拡大もあり中止となりました。予定では県央では岩手県フットボールセンター、沿岸では宮古の2会場での開催となっていました。今年度は、2年振りの開催に向けて最終準備を行っています。じゃんけん大会やファミリーサッカー体験、そして未就学児のクラッキファミリーサッカーなど年代を超えサッカーに触れるよいや楽しんでもらう機会となるようイベントを企画しています。スタッフに多くの女性が参加してもらうのも重点課題と考えています。このような活動から国際女性デーが日本で広がることも、JFA女子サッカーデーなどで女子のサッカーに関わる人口が増えてくれることも目標として取り組んでいきたいと思ひます。

【今後の目標】

岩手FAIにおけるJFAなでしこひろばは、軌道に乗り、実績と成果を上げることができました。次なる目標は、①新規参加者を増やすことや1回あたりの参加者数を増やすこと。そのためにいかに、開催地区に宣伝し認知度を上げることができるか。また、U-6、巡回指導からJFAなでしこひろばに参加者を繋ぐことができるか。②中学生世代の活動機会を作る取り組み。③女性指導者の増員とD級、キッズリーダーなどの資格を取得する機会を作る、です。女子委員会として他委員会との協力体制も取りながら、さらに普及活動に多くの方々を巻き込んで、FA内の女子サッカーの人気をアップできればと思ひます。



普及コーディネーター取り組み事例紹介③

宮城県

中田 麻衣子さん

【中学校年代への取り組みについて】

昨年度より高体連女子部会が主体となり定期的に女子中学生フェスティバルを開催しています。今年度も同様実施し、部員数の少ない学校の先生方にご協力いただきました。当日は高校生と一緒に活動できるようにし、より高校でもサッカーを続けられるイメージを持って参加いただけたかと思えます。また、高体連で運営できない場合にはU15女子クラブチームに協力いただき、この場合には同年代の選手と一緒に活動してもらい、中学生でも女子クラブがあることを認知いただき、選手や保護者の皆さんにも選択肢を増やせたのではないかと思います。「女子同士だから思い切り体をぶつけられる」「楽しみ」「また一緒にプレーしたい」などポジティブな声をいただいております。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

今年度、県トレセンでも参加してみましたが、宮城県の出場チームの選考方法がJFAの趣旨に合っていないのでは感じました。

ただ、宮城県では女子選手が県外のチーム、選手と関わる機会が少なく、どの地区（ブロック）も出場を希望する為、大会形式で出場チームを決定する方法をとっています。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

今年は1月～3月で高校生までのカテゴリーを網羅できるよう取り組んでいます。①1/22はAMなでしこひろば、PM女子高校生8人制サッカー大会、②2/26はAMなでしこひろば、PM4年生以下のブロック対抗ミニサッカー交流会と女子中学生フェスティバル、③3/26はAMなでしこひろば、PMJFAファミリーフェスティバルJFA Magical Field Inspired by Disney “First Touch”を実施いたします。



【今後の目標】

女の子がサッカーを始めるきっかけとなればと、小学校サッカー巡回指導事業を始め3年、2つの地区でなでしこひろばを始め2年が経ちました。継続いただいている女の子が次の段階に進みたくするような仕組みを作っていきたいです。

また、今年度から始めた事業の一つに「みやぎなでしこ塾」があります。あらゆる分野に関わる女性人材の発掘・育成を目的に、企画・運営は全て女性が担うこととし、講話・パネルディスカッション・実技など、様々な形式でサッカーに関する事柄を学ぶ機会を設けています。今月4回目の実施となりますが、今までご参加いただいた皆様に再度アプローチし、MFAが掲げている「サッカーに関わる女性人材の登用」を実現していきたいです。



普及コーディネーター取り組み事例紹介④

秋田県

越中 和範さん

<<テーマ：10年後の未来のために>>

【中学校年代への取り組みについて】

本県女子の普及の課題は、U15女子、U18女子および社会人のサッカークラブチームがそれぞれ1チーム（同一クラブチーム）しかないため、中学生年代だけでなく、高校年代以降も、サッカーを続ける環境が限られているということです。また、男子と一緒にミックスでサッカーを続ける中学生年代の選手も少数いますが、女子どうしてプレーする機会がないため、サッカーチームに所属しながら女子フットサルチームでも活動できることをアナウンスし、女子どうしてプレーできるよう取り組みました。また、中学生年代へのアプローチと共に、キッズ年代および小学生年代の普及が必要不可欠であることから、キッズ委員会と女子委員会が初コラボし、園児と小学生を対象にしたガールズサッカーフェスティバルを開催して、底辺の拡大に取り組みました。



【ガールズゲームへの取り組みについて】

ガールズゲームについては、女子委員会と4種委員会が連携し、各地域の女子選手を集めて活動しています。今後はトレセンとすみ分けし、普及を目的とした取り組みが必要だと考えています。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

本県だけではなく、北東北地域の小学生年代と中学生以上の年代を対象とした、幅広い年齢層を対象に大会を開催し、普及につなげています。ここ数年は新型コロナウイルスの感染リスクから開催を控えておりましたが、今年度は開催予定です。



【今後の目標】

本県は雪国という地域特性もあり、サッカー競技者数およびチーム数が全国ワースト1位に対して、フットサル競技者数およびチーム数は全国上位の状況にあります。本県で女子サッカーの普及が進まない要因として、4種女子が女子委員会ではなくなり、キッズ委員会、4種委員会との連携がとれていないことにあると考えられます。この問題を解消するために来年度から県FA全体で、女子選手および女子チームを増やすという取組を行います。

まずは「1年後にU12女子トレセンの県リーグを開催」、3年後に「U15女子チームの県リーグ戦を開催」、5年後には「高体連女子のチームを増やし県予選を開催」、その後「県内で女子リーグを開催する。」という事を目標としております。そして、10年後には東北の中で宮城県に次ぐ盛り上がりを見せたいと考えております。



普及コーディネーター取り組み事例紹介⑤

山形県

高橋 慶司さん

【中学校年代への取り組みについて】

2022年12月10日に、中体連所属の女子選手を中心としたミニサッカーフェスティバルを開催しました。また、サポートスタッフとして、山形市内の女子サッカー部である、山形明正高校女子サッカー部、東北文教大学山形城北高校女子サッカー部の生徒にも協力していただき、和気あいあいと活動することができました。その中でも、時間が経つにつれ、勝負にこだわる場面がみられたり、自然と名前を呼び指示が飛び交う場面などが見られました。今回は、意図的ではありませんでしたが、他種別交流的に活動を行うことができ、今後さらに、女子選手が集まるきっかけづくりをしていくことの重要性を感じる一日となりました。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

2022年8月27日に県内全域より8チーム(山形・鶴岡地区:2チーム、新庄・酒田・長井・米沢地区:1チーム)を集め開催しました。8チームを各4チームずつのリーグに分け、総当たり形式で運営しました。普段は、男子選手と一緒に活動している選手がほとんどの中で、女子だけでゲームができることや、大学生・高校生の女子選手をサポートスタッフとしたことで、より積極的な姿勢や笑顔が多くみられました。今回の活動が大変好評だったことから、来年度には6・9月の2回開催に向けて準備を進めているところです。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

2023年3月21日に県内で活動する高校女子サッカー部の選手を対象としたメディカル分野に関する講習会を開催する予定で計画しています。講師に関しても、よりサッカー競技に関して理解のある方をお願いし、女子選手として、サッカーに携わる上で重要なことに気づける時間になるよう準備を進めています。

【今後の目標】

今年度の活動から他種別交流の重要性が顕著に見えてきました。これを踏まえて、より来年度には子どもたちが教え合ったり、協力し合える場を提供し、女子選手たちが活発に活動できるよう環境を整えていこうと思います。



普及コーディネーター取り組み事例紹介⑥

福島県

高崎 昇さん

【中学校年代への取り組みについて】

4種女子選手育成の取り組み(地区・県トレセン、Gリーグ開催等)により女子登録選手が増加してきており、4種女子選手所属チームの各指導者等から3種年代での活動継続への働きかけや県内女子チームの紹介を行っている。中学校年代の女子選手たちは現在3つの女子U-15クラブチームの他はU-15男子クラブチームと中体連所属チームや一般女子チームで活動している。これらの選手たちにはU-15県トレセン活動(3年と1・2年)で選考もかねて全員に前期3回合同練習の案内をして活動の機会を持っている。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

第2回となるJFAU-12ガールズゲーム東北大会は、東北6県から16チームが集まりJヴィレッジで開催され本県からは6チームが参加した。昨年より運営はふたば未来学園高等学校女子サッカー部員が行い、今年度は本県から3チームが女性の指導者と女性帯同審判員（ユース審判）での参加となった。東北各県のU-12女子同士の交流大会に、県内の女性指導者と女子高校サッカー部員、さらには女子ユース審判員と、多くの女性に関わり開催された。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

昨年度より女子委員会主催で開催していた女子サッカーデーを県サッカー協会主催事業として、Jヴィレッジ全天候施設を使用することで天候に影響されることなく開催できるようになった。集客にあたっての広報方法と実施内容の見直しを毎回行うことが事業拡大につながっていくと考える。



今年度は3月12日（日）開催予定で、県内外から多くの女性や家族が、Jヴィレッジに集まって、楽しんでいただきたい。

【今後の目標】

<<増やす>>

スポーツの好きな女性・サッカーの好きな女性・サッカーをする女性・サッカーに関わる女性・女性が集まれる場所・女性が集まる機会……を増やす。

一つの試みとして、いわきスポーツクラブの理解・協力により女性や子どもを対象に毎週月曜日の18時からグラウンドを開放していただき活動しています。内容は、サッカーの活動機会がない女子高校生とサッカーをしている女子中学生や女子小学生の親子を対象に、子どもたちはごちゃ混ぜサッカー、親はウォーキングや親子で軽スポーツ等で楽しみながら活動しています。まだまだ理解はされていないのでどの様に変わっていくかはわかりませんが、続けています。



2023年シーズン なでしこリーグ 日程を発表しました！！

詳細は次ページをご覧ください

 S日体大 3.18 ± 12:00 KICK OFF 神奈川県立保土ヶ谷公園 サッカー場	VS	 愛媛FC 愛媛L	 LOVELEDGE 名古屋	VS	 Speranza スペ大阪	 Aハリマ Aハリマ	VS	 YOKOHAMA FC ニッパツ
 ORCA Kamogawa FC オルカ	VS	 SUNNY GUNMA FC WHITE STAR パニーズ	 SEIDA SETAGAYA FC 2001 S世田谷	VS	 SHIZUOKA FC 静岡	 KUNOICHI 伊賀FC	VS	 SYLPHID YAMATO KANAGAWA 大和S
3.19 日 13:00 KICK OFF 鴨川市陸上競技場		3.19 日 13:00 KICK OFF 駒沢オリンピック公園 総合運動場陸上競技場		3.19 日 13:00 KICK OFF 上野運動公園競技場				

 **Plenus なでしこリーグ 1部 [第1節]**
Nadeshiko League

 KIL Charme 吉国大C	VS	 ORIZUMA MIMASAKA Bette 湯郷ベル	 DAIYORETSU HIROSHIMA DR広島	VS	 V三重			
4.1 ± 13:00 KICK OFF 高梁市神原スポーツ公園 多目的グラウンド		4.1 ± 13:00 KICK OFF ミツヨスポーツパーク郷原						
 JFA ACADEMY ac福島	VS	 山梨	 TSUKUBA FC つくば	VS	 NORDDEA Hokkaido NORD	 ANCLAS FUKUOKA SOCCER TEAM SINCE 1988 福岡AN	VS	 VIAMATERRAS MIYAZAKI 2020 ヴィアマ
4.2 日 14:00 KICK OFF 裾野市運動公園陸上競技場			未定 未定		未定 未定			

 **Plenus なでしこリーグ 2部 [第1節]**
Nadeshiko League

2023プレナスなでしこリーグ1部

3月～4月 日程 [\(詳細はこちら\)](#)

節	開催日	対戦カード	K/O	スタジアム		
1	3/18(土)	S日体大 - 愛媛 L	12:00	神奈川	保土ヶ谷	神奈川県立保土ヶ谷公園サッカー場
		名古屋 - スベ大阪	13:00	愛知	C S ア港	C S アセット港サッカー場
		Aハリマ - ニッパツ	15:00	兵庫	ウインク	ウインク陸上競技場
	3/19(日)	オルカ - バニーズ	13:00	千葉	鴨陸	鴨川市陸上競技場
		S世田谷 - 静岡	13:00	東京	駒沢陸上	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
伊賀 F C - 大和 S		13:00	三重	上野	上野運動公園競技場	
2	3/25(土)	バニーズ - S日体大	13:00	群馬	敷島	アースケア敷島サッカー・ラグビー場
		ニッパツ - 名古屋	13:00	神奈川	ニッパツ	ニッパツ三ツ沢球技場
		愛媛 L - Aハリマ	13:00	愛媛	愛媛球	愛媛県総合運動公園球技場
		大和 S - S世田谷	14:00	神奈川	大和	大和なでしこスタジアム
	3/26(日)	スベ大阪 - 伊賀 F C	12:00	大阪	万博	万博記念競技場
静岡 - オルカ		13:00	静岡	ゆめりあ	磐田スポーツ交流の里ゆめりあサッカー場	
3	4/1(土)	名古屋 - 愛媛 L	13:00	愛知	C S ア港	C S アセット港サッカー場
	4/2(日)	S日体大 - 静岡	13:00	神奈川	ニッパツ	ニッパツ三ツ沢球技場
		大和 S - スベ大阪	13:00	神奈川	大和	大和なでしこスタジアム
		伊賀 F C - ニッパツ	13:00	三重	上野	上野運動公園競技場
		Aハリマ - バニーズ	13:00	兵庫	ウインク	ウインク陸上競技場
S世田谷 - オルカ	14:00	東京	A G F	A G F フィールド		
4	4/8(土)	静岡 - Aハリマ	13:00	静岡	ゆめりあ	磐田スポーツ交流の里ゆめりあサッカー場
	4/9(日)	バニーズ - 名古屋	13:00	群馬	前橋総合	前橋総合運動公園 群馬電工陸上競技・サッカー場
		オルカ - S日体大	13:00	千葉	鴨陸	鴨川市陸上競技場
		ニッパツ - 大和 S	13:00	神奈川	ニッパツ	ニッパツ三ツ沢球技場
		スベ大阪 - S世田谷	13:00	大阪	JG堺S1	J-GREEN堺S1メインフィールド
愛媛 L - 伊賀 F C	13:00	愛媛	愛媛球	愛媛県総合運動公園球技場		
5	4/15(土)	名古屋 - 静岡	13:00	愛知	C S ア港	C S アセット港サッカー場
		スベ大阪 - ニッパツ	13:00	大阪	JG堺S1	J-GREEN堺S1メインフィールド
	4/16(日)	大和 S - 愛媛 L	13:00	神奈川	大和	大和なでしこスタジアム
		伊賀 F C - バニーズ	13:00	三重	上野	上野運動公園競技場
		Aハリマ - オルカ	13:00	兵庫	ウインク	ウインク陸上競技場
S世田谷 - S日体大	14:00	東京	A G F	A G F フィールド		
6	4/22(土)	バニーズ - 大和 S	13:00	群馬	敷島	アースケア敷島サッカー・ラグビー場
		静岡 - 伊賀 F C	13:00	静岡	ゆめりあ	磐田スポーツ交流の里ゆめりあサッカー場
		愛媛 L - スベ大阪	13:00	愛媛	愛媛球	愛媛県総合運動公園球技場
	4/23(日)	S日体大 - Aハリマ	12:00	神奈川	保土ヶ谷	神奈川県立保土ヶ谷公園サッカー場
		オルカ - 名古屋	13:00	千葉	鴨陸	鴨川市陸上競技場
ニッパツ - S世田谷	13:00	神奈川	ニッパツ	ニッパツ三ツ沢球技場		
7	4/29(土祝)	ニッパツ - 愛媛 L	13:00	神奈川	保土ヶ谷	神奈川県立保土ヶ谷公園サッカー場
	4/30(日)	大和 S - 静岡	13:00	神奈川	大和	大和なでしこスタジアム
		名古屋 - S日体大	13:00	愛知	C S ア港	C S アセット港サッカー場
		伊賀 F C - オルカ	13:00	三重	上野	上野運動公園競技場
		スベ大阪 - バニーズ	13:00	大阪	JG堺S1	J-GREEN堺S1メインフィールド
S世田谷 - Aハリマ	14:00	東京	味フィ西	味の素フィールド西が丘		

2023プレナスなでしこリーグ2部

4月 日程 (詳細は[こちら](#))

節	開催日	対戦カード	K/O	スタジアム			有料
1	4/1(土)	吉国大C - 湯郷ベル	13:00	岡山	高梁神原	高梁市神原スポーツ公園多目的グラウンド	●
		DR広島 - V三重	13:00	広島	ミトヨ	ミトヨスポーツパーク郷原	
	4/2(日)	a c 福島 - 山梨	14:00	静岡	裾野陸上	裾野市運動公園陸上競技場	
		未定	つくば - NORD	未定	未定	未定	未定
		福岡AN - ヴィアマ	未定	未定	未定	未定	
2	4/9(日)	山梨 - NORD	11:00	山梨	銘水スタ	富士山の銘水スタジアム	
		V三重 - a c 福島	13:00	三重	ラピスタ	LA・PITA東員スタジアム	●
		湯郷ベル - 福岡AN	13:00	岡山	美作ラサ	岡山県美作ラギー・サッカー場	●
	未定	ヴィアマ - DR広島	13:00	宮崎	富田浜	富田浜公園多目的広場	
		つくば - 吉国大C	未定	未定	未定	未定	
3	4/15(土)	吉国大C - V三重	13:00	岡山	高梁神原	高梁市神原スポーツ公園多目的グラウンド	●
	4/16(日)	a c 福島 - 福岡AN	11:00	静岡	時之栖裾	時之栖スポーツセンター裾野グラウンド天然芝	
		DR広島 - NORD	11:00	未定	未定	未定	
		ヴィアマ - 湯郷ベル	13:00	宮崎	富田浜	富田浜公園多目的広場	
		山梨 - つくば	14:00	山梨	やまびこ	都留市総合運動公園やまびこ競技場	
4	4/22(土)	V三重 - ヴィアマ	12:00	三重	ラピスタ	LA・PITA東員スタジアム	●
	4/23(日)	DR広島 - a c 福島	11:00	未定	未定	未定	
	未定	NORD - 吉国大C	未定	未定	未定	未定	
		つくば - 湯郷ベル	未定	未定	未定	未定	
		福岡AN - 山梨	未定	未定	未定	未定	
5	4/29(土祝)	ヴィアマ - つくば	13:00	宮崎	未定	未定	
	4/30(日)	a c 福島 - NORD	11:00	静岡	時之栖裾	時之栖スポーツセンター裾野グラウンド天然芝	
		山梨 - V三重	13:00	山梨	銘水スタ	富士山の銘水スタジアム	
		湯郷ベル - DR広島	13:00	岡山	美作ラサ	岡山県美作ラギー・サッカー場	●
		吉国大C - 福岡AN	13:00	岡山	倉敷陸上	倉敷運動公園陸上競技場	●

※最新の情報は「リーグ」または「チーム」のHPをご覧ください。



なでしこリーグHP コラム連載更新！



コラムのリンク先は[こちら](#)

伝統を引き継ぎ「なでしこ」の名に込められた選手の魅力を探ります。
様々な挑戦をしている選手たちにぜひ注目してください。

②⑩長野涼華 (審判員)

「ユニークな「3足のわらじ」を履く理由」



女性のエンパワーメント原則（WEPs）年次レポート（2022年）を発行

日本サッカー協会（JFA）と日本女子プロサッカーリーグ（WEリーグ）は、「女性のエンパワーメント年次レポート2022」を発行しました。

JFAとWEリーグは2020年10月23日、国連グローバル・コンパクトとUN Womenが共同で作成した「女性のエンパワーメント原則（Women's Empowerment Principles、以下「WEPs」）」に署名し、日本国内におけるスポーツ競技団体の中で最初に参加を表明しました。この参加は、JFAとWEリーグが、女性が力を発揮できる労働環境・社会環境を整備することへの強い意思を示すとともに、サッカー界での女性活躍を押し進めながらスポーツ界をけん引していくことを目的としています。

JFA、WEリーグが女性のエンパワーメント原則に参加（2020年10月23日）

https://www.jfa.jp/women/we_league/news/00025566/



JFAおよびWEリーグでは署名以前から様々な活動を行っていますが、WEPsの7つの原則に沿って、それらの取り組みを年次で整理、分析し、成果や課題を次につなげていくことを目的に、年次レポートを作成しました。署名年をゼロ年として、2021年10月時点での活動状況を明示し、サッカーファミリーの皆さまとともにさらに取り組みを進めていきたいと考えています。

年次レポートはJFA.jpに掲載しています。以下リンクより、ぜひご覧ください。

https://www.jfa.jp/attachment/63c77a3c-0b40-4bab-ab97-766fd3093d95/WEPs2022%20_1230_02.pdf



JFA主催全国大会でリスペクト・フェアプレー関連の取り組みを実施

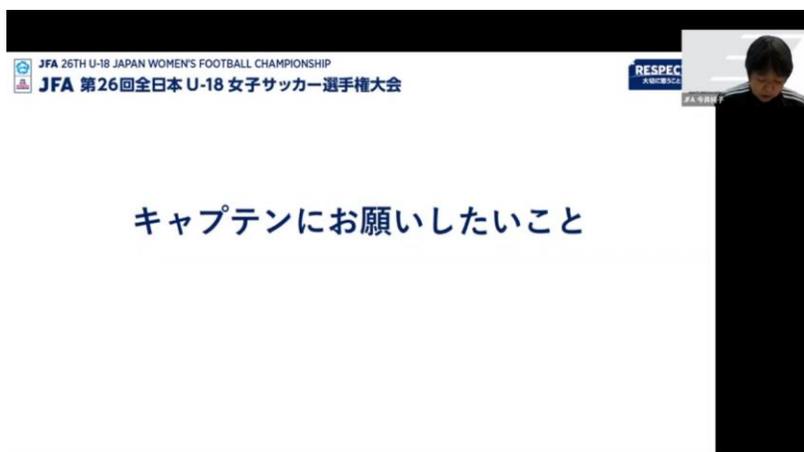
JFA女子委員会では、女子サッカーの大切な価値観として「なでしこらしさ」に代表される価値観を大切にしていきたいと考え、リスペクト推進活動を恒常的に進めています。

2022年12月に開催された「高円宮妃杯JFA第27回全日本U-15女子サッカー選手権大会」及び、2023年1月に開催した「JFA 第25回全日本U-18女子サッカー選手権大会」にて様々なフェアプレー・リスペクトに関する様々な取り組みを行いましたのでご報告します。

協力頂きましたチーム、主管FAの皆さま、ありがとうございました！

1. キャプテンMTGの実施

大会前に大会出場チームのキャプテンをオンラインMTGで繋ぎ、リスペクト・フェアプレーとは何か？ということや、その中でのキャプテンの役割を話し合いました。



2. リスペクト宣言ボードの作成・交換・掲示

出場選手に、事前にリスペクト宣言を各チーム1枚のボードに寄せ書きしてもらい、それを大会1回戦の試合前に両チームで交換しました。その後、会場内でも掲示を行い、大会期間中に多くの来場者の皆さまにご覧頂きました。



3. リスペクトスピーチの実施

それぞれの大会の準決勝試合前に両チームキャプテンによるリスペクト宣言のスピーチを行いました。
各チームが独自で考えた素晴らしいスピーチを披露してくれました。



4. コイントス時の写真撮影への監督の参加



5. キャプテンアームバンドの着用

リスペクトロゴ入りのキャプテンアームバンドを各チームに事前に配布し、各試合でキャプテンに着用
頂きました（任意）

各地域、都道府県で開催する競技会でも、是非積極的に同様の取り組みを実施頂けますと幸いです。
実施検討にあたり、疑問点等あればJFA担当者までお気軽にご相談ください！

《JFA競技運営部 西村亮太》

TEL : 070-4506-7349

メールアドレス : ryota.nishimura@jfa.or.jp

【開催の様子をご紹介します】



◆SC AMIRISA (北海道) 1月14日 (土)

＜1部＞ 小学生を対象に開催

札幌市では、小学生の女子選手のみでサッカーができる環境が少ない為、『女子だけでサッカーがしたい』と思う選手・親御さんの想いテーマとしています。

＜2部＞ 中学生・高校生を対象に開催

普段、違う所属チームの友達が気軽に一緒にボールを蹴ることをテーマにしています。

今の時代、SNSを通じて、学校やクラブが違って、サッカー女子というだけで友達になっているケースが多いと感じています。

＜悩み＞ 室内施設が少ないこと、確保が難しいこと。

会場費が高いことにより、なかなか定期的な

【なでしこひろば】開催ができないこと。



◆福井 GO WEST L.F.C. (福井県) 1月22日 (日)

1月22日に「JFAなでしこひろば in 福井 GO WEST LFC」を開催しました。

小学生女子9名を中心に、中学生やチームスタッフが参加しました。

学年も様々で初参加の子もいましたが、サッカーを通してお互いをフォローし合い、すぐに打ち解け和やかに進行出来ました。もちろん、参加者総出のゲームも白熱し、楽しく盛り上がりました。

今後も定期的開催し、女の子にサッカーの楽しさを知ってもらおうと共に、福井県の女子サッカーの発展のお手伝いが出来ればと思います。

併せて、スポーツの楽しさと、仲間作りの大切さや喜びも味わっていただけたらと思います。

福井の冬は雪でグラウンドが使用できず、屋内での活動が中心となります。グラウンドを思いっきり走り回れる春がもうすぐ来ると、とてもワクワクします！



◆東京フットボールクラブ株式会社（東京都）1月28日（土）

天候にも恵まれ、サッカーがしやすい環境での活動となりました。

FC東京では月に一度、パーク府中でなでしこひろばを開催しています。

小学生クラスの参加者は、FC東京のスクールに通っている子や、毎月このイベントを楽しみにしている子達です。ドリブルやシュート練習、ゲームを行い、コーチや女の子同士の交流を含め、終始楽しそうにプレーしていました。

大人クラスは小学校の高学年と、大人の女性の方が中心で、年齢差がある中での実施となりました。中には、なでしこひろばの活動を知って、茨城県からお越しいただいた、初参加の女の子もいました。

小学生の参加者を中心に、最初は遠慮がちな様子でしたが、大人の女性の方にも配慮いただき、助けられたことで、最終的にはお互いに協力して、それぞれがサッカーを楽しむことができたと思います。年齢に関係なく、女性がサッカーを気軽に楽しめる場という、開催趣旨通りの姿が見られたのではないかと思いますし、引き続き、様々な方がサッカーに触れられる場として、開催を続けていきたいと思います。



【なでしこひろばデータをまとめてみました】

都道府県別認定団体数及び2023年1月開催申請数

都道府県	団体数	開催申請数	都道府県	団体数	開催申請数
1 北海道	17	8	25 滋賀県	8	4
2 青森県	5		26 京都府	8	
3 岩手県	5	3	27 大阪府	19	7
4 宮城県	11		28 兵庫県	11	
5 秋田県	3		29 奈良県	3	
6 山形県	2		30 和歌山県	3	
7 福島県	2		31 鳥取県	8	2
8 茨城県	9	3	32 島根県	1	
9 栃木県	16	3	33 岡山県	11	7
10 群馬県	6		34 広島県	10	
11 埼玉県	38	4	35 山口県	3	
12 千葉県	12		36 香川県	8	
13 東京都	63	9	37 徳島県	5	2
14 神奈川県	25	4	38 愛媛県	4	
15 山梨県	6		39 高知県	2	
16 長野県	12	3	40 福岡県	13	
17 新潟県	7	2	41 佐賀県	6	5
18 富山県	5	2	42 長崎県	7	1
19 石川県	6	3	43 熊本県	5	1
20 福井県	6	2	44 大分県	6	
21 静岡県	13		45 宮崎県	3	
22 愛知県	22	2	46 鹿児島県	2	
23 三重県	10		47 沖縄県	8	
24 岐阜県	5		合計	460	77

【2023年1月データ】

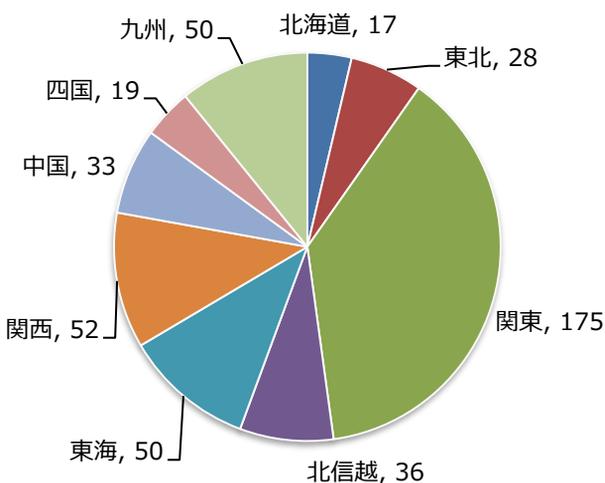
- ・ 全国登録団体数 : 460団体
- ・ 新規登録団体数 : 2団体
- ・ 認定団体数の全国トップ3
 - 1) 東京都 (63団体)
 - 2) 埼玉県 (38団体)
 - 3) 神奈川県 (25団体)
- ・ 全国開催申請数 : 77開催
(12月の開催申請数から16開催減)

年が明けたと思ったら、もう2月も終わろうとしています。全国的に、引き続き朝晩の冷え込みは厳しい日もありますが、少しずつ春の気配が感じられるようになってきたのではないのでしょうか。

1月のなでしこひろばの開催申請数としては16開催減りましたが、再開して下さる団体様も増えてきています。春、新たなスタートの季節、ご無理のない範囲で、なでしこひろばの開催もご検討いただけましたら幸いです！

地域別認定団体数

北海道	17カ所
東北	28カ所
関東	175カ所
北信越	36カ所
東海	50カ所
関西	52カ所
中国	33カ所
四国	19カ所
九州	50カ所
【合計】	460カ所



<http://www.jfa.jp/nadeshikohiroba/>